



2026年4月20日

各 位

会社名 日本精機株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
永野 恵一
(コード番号 7287 東証スタンダード)
問合せ先 事業管理本部 執行役員
鳥越 雅司
TEL (0258) 24-3311

東洋電装株式会社の株式取得（子会社化）についての株式譲渡契約締結に関するお知らせ

当社は、2026年4月20日開催の取締役会において、以下のとおり、東洋電装株式会社(以下「東洋電装」といいます。)の発行済株式の全部を取得し、東洋電装を完全子会社化すること(以下「本株式取得」といいます。)について決議し、本日付で株式譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社グループは、「つながる技術で、インターフェースの価値を創造する」というグループビジョンのもと、四輪車、二輪車、建設機械等に搭載される計器類や空調・住設機器向けコントローラーの製造・販売、高機能樹脂材料の着色加工並びに自動車販売などの事業を展開しています。

また、当社グループは現在進行中の中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)において「新規顧客開拓と新規商材開発」を事業戦略の1つに掲げており、新規事業開拓による事業ポートフォリオ拡充を目指しています。

一方、東洋電装は「私たちは、「和」を大切にし、安心と信頼の技術により、夢溢れる製品を提供することで未来社会に貢献します」を企業理念に掲げ、四輪車、二輪車、パワープロダクツ向けの各種スイッチやHMI(ヒューマンマシンインターフェイス)システム、電子制御装置の設計・製造をグローバルに展開しています。本株式取得の目的は以下の通りです。

① 製品ポートフォリオの拡充と顧客基盤の活用

本株式取得により、東洋電装の車載入力系製品(四輪車用・二輪車用スイッチ類)が新たに当社グループの製品ポートフォリオに加わります。両社がそれぞれ築き上げてきた顧客基盤を相互に活用し、顧客への提案力を強化するとともに販売機会の拡大を目指します。

② HMI領域における技術シナジーの創出

当社グループが培ってきた計器及びHUD(ヘッドアップディスプレイ)の表示技術・製造技術と、東洋電装が強みとする確実な動作と快適な操作フィーリングを実現する機構開発技術など、両社の技術・知見を相互に活かし、ユーザーの安全性・信頼性に資する新たなHMIソリューションの開発を推進します。

③ グループ連携による事業効率の向上

当社グループと東洋電装の部材調達の共通性を活かして共同購買を進めるほか、設計リソースの共有、

海外工場での生産連携などを通じてサプライチェーン全体の効率化を図り、コストダウンを実現するシナジー効果の発揮を目指します。

以上のことにより、東洋電装を当社グループに迎え入れることが、HMI 領域において中長期的な成長基盤を確立するうえで有効であるとともに、当社グループ全体の競争力向上と企業価値向上に資するものと判断し、本株式取得を決定いたしました。

2. 異動する子会社（東洋電装株式会社）の概要

(1) 名 称	東洋電装株式会社			
(2) 所 在 地	東京都港区新橋二丁目 10 番 4 号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小出 潔			
(4) 事 業 内 容	自動車・オートバイ・汎用製品の研究・開発・製造・販売			
(5) 資 本 金	596 百万円 (2025 年 3 月末現在)			
(6) 設 立 年 月 日	1960 年 11 月 1 日			
(7) 大株主及び持株比率	小出潔及び小出興産株式会社 (小出潔の資産管理会社) 33.94% 個人株主 3 名 (※) 21.85% ※個人情報保護の観点から非開示とさせていただきます。 本田技研工業株式会社 14.89% 東洋電装従業員持株会 5.13%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期
連 結 純 資 産		43,425 百万円	50,363 百万円	51,340 百万円
連 結 総 資 産		72,921 百万円	84,257 百万円	80,102 百万円
1 株当たり連結純資産		4,519 円	5,241 円	5,343 円
連 結 売 上 高		95,988 百万円	105,290 百万円	100,038 百万円
連 結 営 業 利 益		1,884 百万円	3,343 百万円	2,530 百万円
連 結 経 常 利 益		1,945 百万円	4,099 百万円	2,467 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益		761 百万円	3,860 百万円	2,695 百万円
1 株当たり連結当期純利益		79 円	402 円	280 円
1 株当たり配当金		20 円	20 円	20 円

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	小出 潔
(2) 住 所	東京都世田谷区
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	該当事項はありません。

(1) 名 称	小出興産株式会社
(2) 所 在 地	東京都港区新橋二丁目 10 番 4 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小出 潔

(4) 事業内容	損害保険代理業、不動産管理業、他	
(5) 資本金	11 百万円 (2025 年 12 月 31 日現在)	
(6) 設立年月日	昭和 63 年 (1988 年) 12 月 20 日	
(7) 純資産	31 百万円 (2025 年 12 月 31 日現在)	
(8) 総資産	31 百万円 (2025 年 12 月 31 日現在)	
(9) 大株主及び持株比率	小出 潔	100.00%
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(1) 氏名	個人情報保護の観点から非開示とさせていただきますが、個人株主 3 名より株式を取得いたします。
(2) 住所	
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

(注) 当社は上記 1 社及び 4 名 (合計 5,361,037 株、議決権所有割合 55.80%) と本日付けで株式譲渡契約を締結いたしました。今後、その他の株主とも株式譲渡に関する合意形成を進めてまいります。最終的に東洋電装の発行済株式の全部を取得する予定です。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	一株 (議決権の数：一個) (議決権所有割合：一%)
(2) 取得株式数	9,608,888 株 (注 1) (議決権の数：9,608 個)
(3) 取得価額	東洋電装株式会社の普通株式 49,850 百万円 (注 2) アドバイザー費用等 (概算額) 700 百万円 合計 (概算額) 50,550 百万円
(4) 異動後の所有株式数	9,608,888 株 (議決権の数：9,608 個) (議決権所有割合：100.0%)

(注 1) 最終的に取得する予定の発行済株式数となります。

(注 2) 最終的に取得する予定の株式に係る対価を含みます。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2026 年 4 月 20 日
(2) 株式譲渡契約締結日	2026 年 4 月 20 日
(3) 本株式取得実行日	2026 年 10 月 1 日 (予定)

(注) 本株式取得の実行は、国内及び海外における競争法その他関連法令上必要な承認等の手続が完了することを条件としております。これらの手続の遅延又はその他の理由により、上記日程が変更となる場合があります。

6. 今後の見通し

本株式取得にかかる資金に関しては、その全額を金融機関からの借入により調達する予定であり、今後、金融機関と協議のうえ、借入金額その他条件を決定する予定です。

本株式取得の結果につきましては、今後、明らかになった時点で速やかに開示いたします。また、本株式取得に伴う東洋電装の子会社化による当社の業績、財政状況に与える影響につきましても、今後、明らかになった時点で速やかに開示いたします。

以 上



NIPPON SEIKI

東洋電装株式会社の株式取得(子会社化) について

日本精機株式会社(証券コード:7287)

2026年4月20日

中期経営計画における本案件の位置づけ

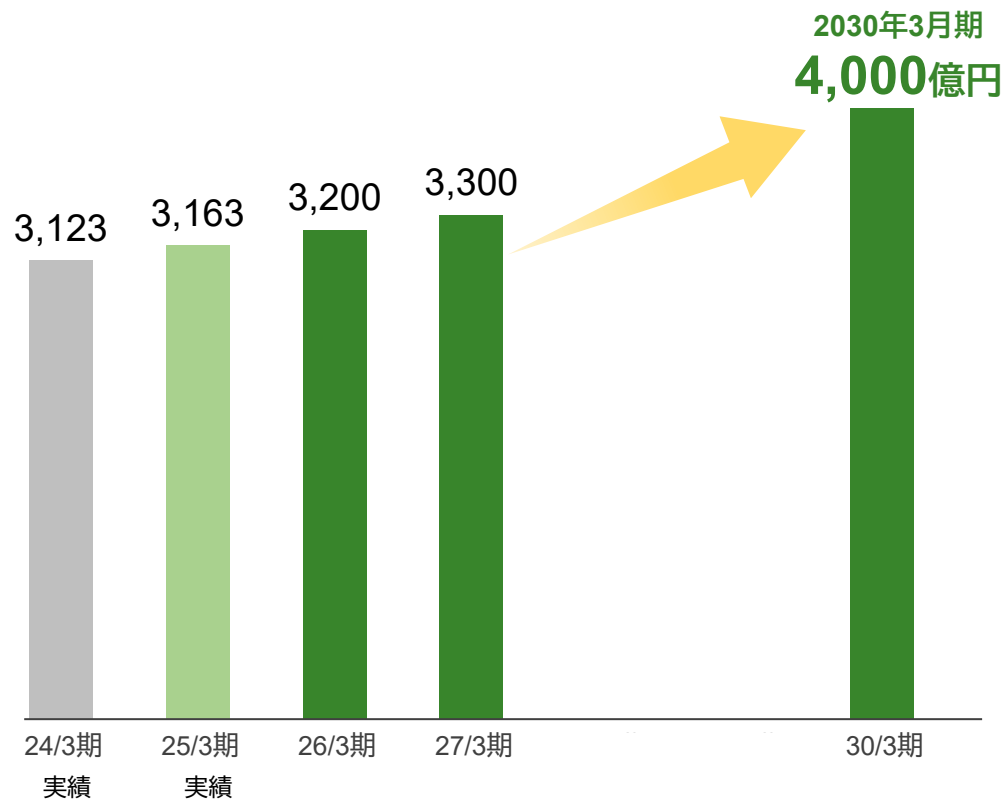
- 現中期経営計画の成長戦略は、“既存事業の収益性改善”と“新規事業開拓による事業ポートフォリオ拡充”
- 本案件は、次期中計で掲げる売上収益4,000億円、ROE8.0%に向けた“事業ポートフォリオの拡充”として実行

現中計と次期中計の売上収益目標*

*2023年11月10日公表

現 中期経営計画2026

次期 中期経営計画



現 中期経営計画2026

1. 四輪・HUD:成長性と収益性を高める事業戦略の実行
2. 二輪:新興市場における二輪車用計器の販売加速
3. イノベーティブな製品・サービス・ビジネスの創出
(新規事業開拓による事業ポートフォリオ拡充)

次期 中計目標(2030年3月期)

売上収益	ROE
4,000億円	8.0%

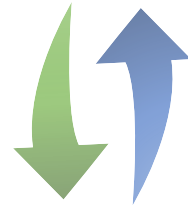
両社の経営理念

- ユーザーの安全性・信頼性をHMI*技術で追求し、安心・信頼・感動のある未来に向けた事業活動を双方で展開
- 変化に果敢にチャレンジする姿勢も共通項であり、時代が要求する新たなHMI*ソリューションの提供が可能

*HMI(Human Machine Interface)・・・「人」と「車」を結び付ける装置や技術

「安心と感動に満ちた世界と未来をつくります」

 **NIPPON SEIKI**



「私たちは、「和」を大切にし、安心と信頼の技術により、夢溢れる製品を提供することで未来社会に貢献します」

 **TOYODENSO**

東洋電装の概要

- 四輪車/二輪車/パワープロダクツ向け各種スイッチやHMIシステム、電子制御装置の開発・製造をグローバルに展開
- 成形から組み立てまでを自社一貫で手がけ、地域に根ざした供給体制と革新を追求する姿勢が強み

基本情報

会社名	東洋電装株式会社
本社	東京都港区新橋2丁目10番4号
代表者	代表取締役社長 小出 潔
会社HP	https://www.toyo-denso.co.jp/
設立	1960年
資本金	596百万円
売上高	100,038百万円(2025年3月期)
従業員数	8,716名(2025年3月31日時点)
株式	非上場
事業内容	自動車・オートバイ・汎用製品の研究・開発・製造・販売
主要取引先	ホンダ・トヨタ・いすゞ・KAWASAKI

事業の特徴

- **主要OEM各社との関係を通じて培った技術力・対応力**
 - ホンダを筆頭に長年に亘る取引関係を通じて培ってきた技術力・対応力により、安定した売上高実績を有する
- **革新技術で人と車両を優しくつなぐ製品の研究・開発・製造力**
 - 快適な車室内空間の実現を目指す設計・開発力
 - 次世代に向けた新たな価値を創造する先進開発(R&D)
 - 高い改革意識と新技術の探求を行う生産技術

連結業績

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
連結売上高	95,988	105,290	100,038
連結営業利益	1,884	3,343	2,530
営業利益率	2.0%	3.2%	2.5%

東洋電装の製品

- 四輪車、二輪車向けのスイッチ類などを展開(売上の約70%が四輪車向け、25%が二輪車向け)
- ホンダとの取引が強く、4輪・2輪車の多くの車種に製品を搭載(ホンダ向け売上比率 80%超)

四輪車用製品



パワーシート制御ECU



パワーシートスイッチ



コンビネーションスイッチ



ステアリングスイッチ



パワーウィンドウスイッチ



ポジションセンサー

二輪車用製品



インジケーター



スポーツ系スイッチ



スクーター系スイッチ



ツアラー系スイッチ



ニュートラルスイッチ



傾斜センサー

パワープロダクツ用製品



エンジンストップ
スイッチ



エンジンスタート
スイッチ



エマージェンシー
スイッチ



ニュートラルスイッチ



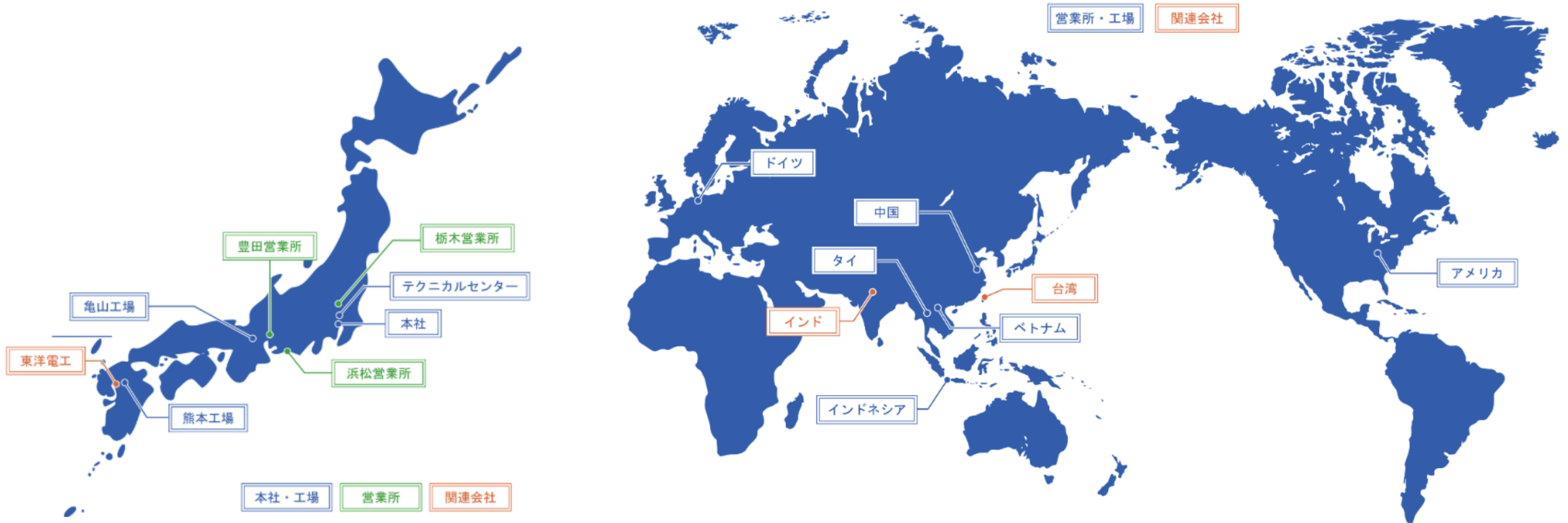
トラマグ方式IGN
コイル



チャージコイル

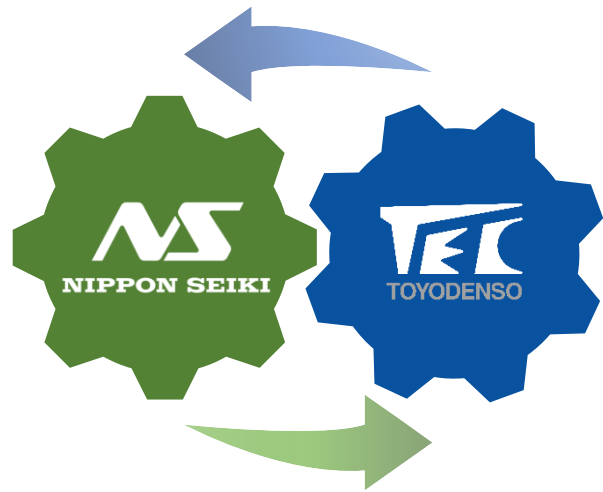
東洋電装の展開拠点

- グローバルに生産・開発・営業拠点(16拠点)のネットワークを設け、顧客に密着した供給体制を構築



株式取得の目的・目指す姿

- それぞれが培ってきた顧客基盤を相互に活用し、顧客への提案力を強化するとともに販売機会を拡大
- 特に、今後も成長が見込まれる二輪車市場におけるプレゼンスを双方で高め、収益拡大に努める
- HMI領域において中長期的な成長基盤を確立し、グループ全体の競争力向上と企業価値向上を目指す



1

製品ポートフォリオ拡充と顧客基盤の活用

2

HMI領域における技術シナジーの創出

3

グループ連携による事業効率の向上

1 製品ポートフォリオ拡充と顧客基盤の活用

- 東洋電装の車載入力系製品(四輪車用・二輪車用スイッチ類)が新たに製品ポートフォリオに追加
- 双方の顧客基盤を活用し、顧客への提案力を強化するとともに販売機会の拡大を目指す

製品ポートフォリオ拡充

NIPPON SEIKI

コア領域：表示・アウトプット



四輪メーター

HUD



二輪メーター



センサー



建設/農業/船舶用

TOYODENSO

コア領域：操作・入力



コンビネーションスイッチ



ステアリングスイッチ



トラクター系スイッチ



成長機会

● 車載入力系製品の安定的な需要

自動車メーカーにおけるメカニカルスイッチへの回帰を受け、今後も需要は堅調に推移する見通し

● エリアECU開発における取り組み

物理スイッチ製品を進化させるとともに、エリアECUのシームレス化と機能統合を図ることで、シンプルかつ機能的な製品を開発

● 二輪車事業の成長余地

グローバルサウスにおける二輪車需要の拡大の取り込み

● 双方の顧客基盤の活用

両社それぞれで築き上げてきた顧客との信頼関係をかけ合わせるにより、新たに更に強固な関係性を構築

(例) 国内での顧客基盤活用、海外メーカーへの拡販機会
トラックメーカー、建機・農機メーカーへの参入機会

2 HMI領域における技術シナジーの創出

- 当社の表示技術・製造技術と、東洋電装の強みである確実・快適な操作を実現する機構開発技術でシナジー創出
- 両社の技術・知見を相互に活かし、ユーザーの安全性・信頼性に資する新たな HMI ソリューションの開発を推進

NIPPON SEIKI

コア領域：表示・アウトプット

- 車両全体を見据えたHMI設計
- 表示技術・光学設計・製造技術
- メーター/表示デバイスの量産実績

TOYODENSO

コア領域：操作・インプット

- 瞬間認知・直感操作・最適フィーリングの追求
- 確実で快適な操作を実現する機構開発技術
- スイッチ等多くのECU開発/量産実績

HMI空間価値の深化



- 両社のこれまでの知見を結集することにより、さらに安全で、安心なHMI空間を提案
- 視認性とフィーリング操作を両立する二輪車ハンドルモジュールなど、新たなスタイリングを実現する製品の開発推進

3 グループ連携による事業効率の向上

- 当社グループと東洋電装の部材調達の共通性を活かして共同購買を推進
- 設計リソースの共有、海外工場での生産連携などを通じてサプライチェーン全体の効率化を実現

期待されるオペレーション上のシナジー効果

購買

- 共同購買によるスケールメリット

設計

- 設計リソースの共有化、設計外注の社内取り込み

部品共通化

- センサー等、共通製品の仕様統合、部品の共通化

グローバル生産連携

- 海外工場での生産連携、資産効率の向上、設備投資の効率化

国内拠点での連携

- 営業拠点や間接部門における事業連携、リソース活用

3 グループ連携による事業効率の向上

- 各拠点の工場、設備、人などのリソースの相互活用について検討し、事業効率の向上を目指す

地域	国名	日本精機			東洋電装		
		営業	開発	製造	営業	開発	製造
北米	アメリカ	○	○	○	○	○	○
	メキシコ			○			
南米	ブラジル			○			
欧州	ドイツ				○		
	オランダ	○	○				
	イギリス			○			
	ポーランド			○			
アジア	中国	○	○	○	○		○
	タイ	○	○	○	○	○	○
	インドネシア	○		○	○		○
	ベトナム	○	○	○	○		○
	インド	○	○	○	○		○
	台湾	○	○		○		○

本案件の想定効果

- 東洋電装の売上貢献に加え、協業によるシナジーの効果により、売上高を拡大
- 双方の生産性改善に加え、サプライチェーンの効率化によるコスト削減シナジーの発揮により、収益性を向上

	2026年3月期 計画 (2025年5月15日公表値)	単純合算 日本精機・東洋電装それぞれの 2026年3月期の業績計画を単純合算 (改善シナジー等を織り込まない数値)
売上収益	3,200億円	4,200億円
ROE	3.5%	4.3%

※なお、東洋電装の連結業績は2027年3月期以降の決算において取り込まれる予定です

本案件の取引概要

- 2026年4月20日開催の取締役会において、東洋電装株式会社の発行済株式の全部を取得し、東洋電装を完全子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結
- 今後は、同日付で株式譲渡契約を締結した株主以外の株主とも株式譲渡に関する合意形成を進め、最終的に東洋電装発行済株式の全部を取得する予定

取引概要

対象会社	東洋電装株式会社
株式取得額	49,850百万円
買収資金	本株式取得にかかる資金に関しては、その全額を金融機関からの借入により調達する予定であり、今後、金融機関と協議のうえ、借入金額その他条件を決定する予定。 ※エクイティファイナンスの実施予定はなし
契約締結日	2026年4月20日
クロージング予定日	2026年10月1日(予定)

ご注意

本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画等が含まれています。

これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や同行に関する現時点での仮定に基づくものであり、将来の結果や業績を保証するものではありません。

本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込みまたは買付けの申込みの勧誘を構成するものでも、勧誘行為を行うものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。